

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ 類型・ 2グループ		担当者名	○上田 龍馬
教科・領域名		理科			
ね ら い		(1)自然の事物・現象についての様々な事柄についての理解を深める。 (2)観察や測定などを行い、注意深く見たり変化に気づいたりする力を養う。 (3)自然を愛する心情を養い、学んだことを生活に生かそうとする力を身に付ける。			
曜日・校時・時間		水曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		2年B組			
年間授業時数		19.0 時間			
使用教科書		なし(自作教材)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4					
5					
6					
7					
9					
10	気象と自然	8	○天気や気温に興味をもち、身近な自然に関心をもつ。 □天気予報を見て自分の住んでいる地域の天気の変化を理解することができる。 (思考・判断・表現) □雲の種類や天気図記号を覚える。(知識・技能) □気温や太陽の位置の変化を観察し、地面の温かきの違いを比べる。 (知識・技能) □地域の自然についてICT機器や資料を活用して調べたり、発表したりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・新聞の天気予報欄を見て、情報を読み取る。 ・タブレット端末で雲の種類を調べる。 ・写真を撮ってモニターに映し出し、注目点が分かりやすいようにする。
11					
12					
1	身近な生物	11	○身近な生物についてからだの仕組みや特徴などを知る。 □身近なところにどんな生物がいるのか、ICT機器を利用して調べたり、校庭を探したりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □昆虫や魚など、身近な生物のからだのつくりの特徴を知る。(知識・技能) □いろいろな生物を類ごとに分類する。(思考・判断・表現)		・動物図鑑を用いるなどして、名前や特徴を理解しやすいようにする。 ・からだのつくりや部位の特徴を図に書いたり、スケッチしたりする。 ・分類ごとに表に書き込んでまとめる。
2					
3					
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ類型・3グループ		担当者名	○中山 悠
教科・領域名		理科			
ね ら い		(1)自然の事物・現象についての様々な事柄についての理解を深める。 (2)観察や測定などを行い、注意深く見たり変化に気付いたりする力を養う。 (3)自然を愛する心情を養う。			
曜日・校時・時間		金曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		2年D組			
年間授業時数		19.0 時間			
使用教科書		なし(自作教材)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4					
5					
6					
7					
9					
10	気象と自然	8	○天気や気温に興味をもち、身近な自然に関心をもつ。 □天気予報を見て自分の住んでいる地域の天気の変化を理解することができる。 (思考・判断・表現) □雲の種類や天気図記号を覚える。(知識・技能) □気温や太陽の位置の変化を観察し、地面の温かさの違いを比べる。 (知識・技能) □地域の自然についてICT機器や資料を活用して調べたり、発表したりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・新聞の天気予報欄を見て、情報を読み取る。 ・タブレット端末で雲の種類を調べる。 ・写真を撮ってモニターに映し出し、注目点が分かりやすいようにする。
11					
12					
1	身近な生物	11	○身近な生物についてからだの仕組みや特徴などを知る。 □身近なところにどんな生物がいるのか、ICT機器を利用して調べたり、校庭を探したりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □昆虫や魚など、身近な生物のからだのつくりの特徴を知る。(知識・技能) □いろいろな生物を類ごとに分類する。(思考・判断・表現)		・動物図鑑を用いるなどして、名前や特徴を理解しやすいようにする。 ・からだのつくりや部位の特徴を図に書いたり、スケッチしたりする。 ・分類ごとに表に書き込んでまとめる。
2					
3					
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ 類型・ 4グループ		担当者名	○中山 悠
教科・領域名		理科			
ね ら い		(1)自然の事物・現象についての様々な事柄についての理解を深める。 (2)観察や測定などを行い、注意深く見たり変化に気付いたりする力を養う。 (3)自然を愛する心情を養い、学んだことを生活に生かそうとする態度を高める。			
曜日・校時・時間		金曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		2年F組教室			
年間授業時数		19.0 時間			
使用教科書		なし(自作教材)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4					
5					
6					
7					
9					
10	気象と自然	8	○天気や気温に興味をもち、身近な自然に関心をもつ。 □天気予報を見て自分の住んでいる地域の天気の変化を理解することができる。 (思考・判断・表現) □雲の種類や天気図記号を覚える。(知識・技能) □気温や太陽の位置の変化を観察し、地面の温かきの違いを比べる。 (知識・技能) □地域の自然についてICT機器や資料を活用して調べたり、発表したりする。 (主体的に学習に取り組む態度)		・新聞の天気予報欄を見て、情報を読み取る。 ・タブレット端末で雲の種類を調べる。 ・写真を撮ってモニターに映し出し、注目点が分かりやすいようにする。
11					
12					
1	身近な生物	11	○身近な生物についてからだの仕組みや特徴などを知る。 □身近なところにどんな生物がいるのか、ICT機器を利用して調べたり、校庭を探したりする。(主体的に学習に取り組む態度) □昆虫や魚など、身近な生物のからだのつくりの特徴を知る。(知識・技能) □いろいろな生物を類ごとに分類する。(思考・判断・表現)		・動物図鑑を用いるなどして、名前や特徴を理解しやすいようにする。 ・からだのつくりや部位の特徴を図に書いたり、スケッチしたりする。 ・分類ごとに表に書き込んでまとめる。
2					
3					
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・5グループ		担当者名	○笠 公輔
教科・領域名		理科			
ね ら い		(1)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などの初歩的な技能を身に付ける。 (2)観察、実験などを行い、観察の方法を考える力とより妥当な考えを見出す力を養う。 (3)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生かそうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		2年E組教室			
年間授業時数		36.3 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ理科(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	植物の体のつくり	3	○植物のつくりの観察を行い、構造を理解するとともに、花、茎、根の役割を知る。 □植物の各構造に注目して観察をして、形態と機能を理解している。 (知識・技能)		・教員が植物のつくりを画像で示す。実際の植物を顕微鏡で観察できるようにする。 ・植物の構造と機能についてワークシートでまとめをする。
5	身の周りの生物	4	○カビは微生物であることを知り、発酵や腐敗が微生物のはたらきによって起こることを理解する。 □微生物を観察して身の周りに様々な微生物がいることを知り、発酵や腐敗の違いを説明できる。(知識・技能)		・人が様々な生物と一緒に生活をしている例として、発酵食品を挙げて暮らしの中で微生物が役立っていることを示す。
6	物質(金属・プラスチック)	3.8	○金属、プラスチックなどの種類や特徴を知り、性質を調べることができる。 □有効な利用の仕方や環境への負荷や、リサイクルについての問題について意見を述べる。(思考・判断・表現)		・身の周りの物が何でできているか調べる機会を設ける。 ・生活環境に影響を与える物質やリサイクルについて具体的に考えられるようにする。
7	物質の成分と化学変化	3	○身の周りにある物質は、原子からできおり条件により他の物質へと変化することを理解する。 □様々な物質がどの元素から出来ているか調べることができる。基礎的な元素記号をもとに物質の化学変化を説明できる。(思考・判断・表現)		・物質を構成する原子や分子を図で示せるようにする。 ・基本となる元素記号の読み書きに慣れるようにする。
9	火山と大地	4	○マグマの性質と火山の性質について理解する。 □マグマの粘りについて着目して、火山の形態や火山に関する地形を調べて発表できる。(思考・判断・表現)		・日本の特徴的な地形を示して火山の性質をまとめることができるようにする。 ・マグマの性質と火山の形成について発表する機会を設ける。
10	地震とプレート	4	○プレート運動により海溝や山脈ができることや地震のメカニズムを理解する。 □スライドや模型を用いて、プレートの動きとひずみについて説明する。 (知識・技能)		・地震発生のメカニズムを画像や動画で示し理解を促す。 ・今後の日本のプレート運動について考えてみる。
11	気象の変化	2.8	○天気の仕事みや気象観測の方法を知り、雲のでき方、前線の衝突などのモデルを示して理解を促す。ワークシートで演習を行い簡単な気象予測ができる。 (思考・判断・表現)		・雲量による天気の見方を確認できるようにする。気温、湿度などの気象要素の理解を促す。
12	自然災害(津波、台風、火山噴火)	4	○災害のメカニズムを学び、津波、台風、噴火の起こり方、発生時の対応について知る。 □津波、台風、噴火の起こり方、発生時の対応について学習して、災害発生時の状況判断の仕方や対応を理解することができる。(知識・技能)		・様々な災害が発生する理由を考察する機会を設ける。 ・災害時の対応と災害に備える準備の必要な物について考えられるように支援する。
1	人体(消化と吸収)	3	○体内に栄養素を取り入れる仕組みや唾液などの消化液の反応から、消化のしくみを理解している。 □唾液の消化実験の結果から、消化のしくみを理解するとともに、適切な食べ物を選ぶことの大切さを理解している。(知識・技能)		・生命活動の維持に必要な器官とその働きをワークシートにまとめられるように支援する。
2	人体(呼吸と循環)	2	○人の体の主のつくりや働きを知り、主な器官を説明することができる。 □生命の維持するために、必要なことを考えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)		・食べ物などの消化、吸収されるかを考える機会を設ける。酵素のはたらきをワークシートにまとめられるように支援する。
3	エネルギー(環境問題と節電)	2.7	○発電に関わる様々なエネルギーの特徴や問題点について理解している。 □ガス、石油などの燃料が生活の中で果たす役割を知り、私達が安全に暮らしていくために必要な方法を考えることができる。(思考・判断・表現)		・エネルギーの特徴を調べ、環境問題についてを考えて発表する場面を設ける。
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・6グループ		担当者名	○笠 公輔
教科・領域名		理科			
ね ら い		(1)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などの初歩的な技能を身に付ける。 (2)観察、実験などを行い、観察の方法を考える力とより妥当な考えを見出す力を養う。 (3)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生かそうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		学習室			
年間授業時数		36.3 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ理科(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	植物の体のつくり	3	○植物のつくりの観察を行い、構造を理解するとともに、花、茎、根の役割を知る。 □植物の各構造に注目して観察をして、形態と機能を理解している。(知識・技能)	・教員が植物のつくりを画像で示す。実際の植物を顕微鏡で観察できるようにする。 ・植物の構造と機能についてワークシートでまとめをする。	
5	身の周りの生物	4	○カビは微生物であることを知り、発酵や腐敗が微生物のはたらきによって起こることを理解する。 □微生物を観察して身の周りに様々な微生物がいることを知り、発酵や腐敗の違いを説明できる。(知識・技能)	・人が様々な生物と一緒に生活をしている例として、発酵食品を挙げて暮らしの中で微生物が役立っていることを示す。	
6	物質(金属・プラスチック)	3.8	○金属、プラスチックなどの種類や特徴を知り、性質を調べることができる。 □有効な利用の仕方や環境への負荷や、リサイクルについての問題について意見を述べる。(思考・判断・表現)	・身の周りの物が何でできているか調べる機会を設ける。 ・生活環境に影響を与える物質やリサイクルについて具体的に考えられるようにする。	
7	物質の成分と化学変化	3	○身の周りにある物質は、原子からできており条件により他の物質へと変化することを理解する。 □様々な物質がどの元素から出来ているか調べることができる。基礎的な元素記号をもとに物質の化学変化を説明できる。(思考・判断・表現)	・物質を構成する原子や分子を図で示せるようにする。 ・基本となる元素記号の読み書きに慣れるようにする。	
9	火山と大地	4	○マグマの性質と火山の性質について理解する。 □マグマの粘りについて着目して、火山の形態や火山に関する地形を調べて発表できる。(思考・判断・表現)	・日本の特徴的な地形を示して火山の性質をまとめることができるようにする。 ・マグマの性質と火山の形成について発表する機会を設ける。	
10	地震とプレート	4	○プレート運動により海溝や山脈ができることや地震のメカニズムを理解する。 □スライドや模型を用いて、プレートの動きとひずみについて説明する。(知識・技能)	・地震発生のメカニズムを画像や動画で示し理解を促す。 ・今後の日本のプレート運動について考えてみる。	
11	気象の変化	2.8	○天気の仕事みや気象観測の方法を知り、雲のでき方、前線の衝突などのモデルを示して理解を促す。ワークシートで演習を行い簡単な気象予測ができる。(思考・判断・表現)	・雲量による天気の見方を確認できるようにする。気温、湿度などの気象要素の理解を促す。	
12	自然災害(津波、台風、火山噴火)	4	○災害のメカニズムを学び、津波、台風、噴火の起こり方、発生時の対応について知る。 □津波、台風、噴火の起こり方、発生時の対応について学習して、災害発生時の状況判断の仕方や対応を理解することができる。(知識・技能)	・様々な災害が発生する理由を考察する機会を設ける。 ・災害時の対応と災害に備える準備の必要な物について考えられるように支援する。	
1	人体(消化と吸収)	3	○体内に栄養素を取り入れる仕組みや唾液などの消化液の反応から、消化のしくみを理解している。 □唾液の消化実験の結果から、消化のしくみを理解するとともに、適切な食べ物を選ぶことの大切さを理解している。(知識・技能)	・生命活動の維持に必要な器官とその働きをワークシートにまとめられるように支援する。	
2	人体(呼吸と循環)	2	○人の体の主のつくりや働きを知り、主な器官を説明することができる。 □生命の維持するために、必要なことを考えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・食べ物がどのように消化、吸収されるかを考える機会を設ける。酵素のはたらきをワークシートにまとめられるように支援する。	
3	エネルギー(環境問題と節電)	2.7	○発電に関わる様々なエネルギーの特徴や問題点について理解している。 □ガス、石油などの燃料が生活の中で果たす役割を知り、私達が安全に暮らしていくために必要な方法を考えることができる。(思考・判断・表現)	・エネルギーの特徴を調べ、環境問題についてを考えて発表する場面を設ける。	
備考					